

## 客観的な指標としての GPA 指標の算出方法

履修した科目の成績をポイント化し、その合計ポイントを履修済みの科目数で割り算したもの

授業科目の成績の査定

履修した科目の成績を学則で定めた4段階の学業成績評価（A・B・C・D）で表示し、それぞれの評価をポイント換算し総数を総教科数で割る

・成績とポイント換算

A→4ポイント

B→3ポイント

C→2ポイント

D→0ポイント

個人別の科目のポイントより加重平均にて算出

計算式

$$\{ (A \text{の教科目数} \times 4 \text{ポイント}) + (B \text{の教科目数} \times 3 \text{ポイント}) + (C \text{の教科目数} \times 2 \text{ポイント}) + (D \text{の教科目数} \times 0 \text{ポイント}) \} \div \text{履修済総教科目数}$$

学則抜粋

### 第5章 成績評価

（学習の評価）

第21条 学業成績は、学科、並びに実習について定期試験を行い、かつ平素の成績、及び勤惰を参考にして定める。

2. 成績は各科目100点満点とし、60点以上を合格点とする。成績の評価はA.B.C.D評価として、評価基準は80点以上がA、70点以上79点以下がB、60点以上69点以下がC、それ以外をDとする。但し、D評価は不合格である。